

27

お葬式は命の尊さを知る機会 儀式を通して気持ちに寄り添う仕事



ウェブページ
を見る

セレミューズ 株式会社

生駒市元町 1-6-12 生駒セイセイビル6F ☎0743-75-4444 <http://ceremuse.jp>
創業: 1949年 従業員数: 15人



「人は死んだらどうなるんだろう」

悲しみを乗り越えるためのお手伝い

お葬式へ行って「人間は死んだらどうなるの
だろう」と感じるその時、人は命について
考えます。葬儀会社の仕事は、設備の
整った会館でお葬式の間を用意し、儀式
を通して大切な人との別れを乗り越え
ていただくことです。働く人には高いコ
ミュニケーション能力が必要です。



お葬式はどんな流れをするのでしょうか



葬儀会社で働く人はこんなことができる人です

相手の話を聞くことができる人



大切な方を亡くしたご家族は、気持ち
が動揺されているものです。そんな
時こそ、相手に寄り添って落ち着
いて丁寧に話を聞き、安心を与える
ことができる人です。

チームで働く大切さを知っている人



お葬式は短い時間でたくさんの手続
きや手配が必要です。ご家族の望む
お葬式の実現は、決して一人ではで
きません。チームの一員として働く
大切さを知っている人です。

困難に立ち向かうための考え方を伝えています

お葬式は、人生の中でも深い悲しみを乗り越えなければならない時
もあります。しかし、普段から「つながっている命」について考えていけば、
悲しみを乗り越えるヒントになるでしょう。自然やいろいろな人と触れ合
い、一緒になって何かを成し遂げる機会は、「つながっている命」について
考えさせ、困難に立ち向かうための選択肢を広げます。命について考える
葬儀会社だからこそできる、さまざまな取組みを提供しています。



会館に飾る「花手水」を協働で作成



社会福祉法人いこま福祉会「かざ
ぐるま」とさんと、大切な人を亡く
したご家族のグリーンケアをする
「花手水」を作っています。色とり
どりの自然に触れ、作る楽しさを
提供したり、お仕事として制作を
依頼したり「協働」がテーマです。

企業が取り組むSDGs活動を通して、自然に触れる



「ロスフラワー」の活用を伝える
中で子どもたちが「生花」や「花言
葉」といった自然に触れる機会を
作っています。スポンサーをして
いる地域のサッカーチームの子
どもの、夏休みの自由研究の
テーマにもなりました。

こんな人が働いています

葬祭ディレクター / 森永康裕さん



お話しする声の高さやリズムなどで、ご
家族の気持ちが落ち着きます。みなさん
も普段の生活の中で相手を思いやる話し
方を見つけてみませんか?

葬祭ディレクター / 和田剛さん



代表してお葬式を行う方を「喪主」と言います。
喪主になる機会は少なく、大人になっても初
めてのことは不安です。分かりやすく説明す
ること、安心していただくことが大切です。



お葬式に関わる仕事は、人間の心に寄り添う仕事です。時には家
族と一緒に悲しみ、時には冷静にお葬式の準備をします。お葬式
が終わった後にご家族から「心の整理がついて、いいお葬式でし
た」と言ってもらえることに喜びを感じられる仕事です。